PROGRESSO ＜進歩＞

館林市立多々良中学校
第２学年　学年通信
NO.２８　R2. 10. 23

来たる１０月２８日（水）は『群馬県民の日』です。毎年県民の日は公立学校等が休みになり、県内各地で記念事業や施設の無料・割引開放が実施され、今年も多くの催しが予定されています。ところでこの群馬県民の日とは、そもそもどんな日なのでしょうか？

☆なぜ、どのように、制定されたの？

群馬県民の日は、昭和５８年に「第３８回国民体育大会（あかぎ国体）」「第１９回全国身体障害者スポーツ大会（愛のあかぎ大会）」が開催され、県民意識が高まったことをきっかけに「郷土の歴史を知り、郷土についての理解と関心を深め、自治の意識を高めるとともに、より豊かな郷土を築きあげることを期する日」（群馬県民の日を定める条例第１条）として昭和６０年に制定されました。制定に際しては、まず昭和５９年１０月に県各界の代表者を構成員とする制定懇談会が設置され、その中で期日・名称・制定形式等が検討されました。制定懇談会の報告を基に昭和６０年３月「群馬県民の日を定める条例」が制定され、同４月施行されました。

☆どうして１０月２８日なの？

制定懇談会において候補として挙がった期日は、下記の３案でした。

1.初めて「群馬県」の名称が使用された（明治４年）１０月２８日
2.その後の統廃合で群馬県がほぼ現在の形となった（明治９年）８月２１日
3.県民総参加で大成功をおさめた「あかぎ国体」の秋季大会開会の日であった（昭和５８年）１０月１５日

この中で、歴史的に由緒があり、記念事業が実施しやすい等の理由で１０月２８日が選ばれました。

なお、明治４年当時日本はまだ太陰暦を使用しており、旧暦明治４年１０月２８日は太陽暦では１８７１年１２月１０日に当たりますが、１２月１０日は時期的に年の暮れで社会全体が忙しく、山間部では雪も降り始めることから、県民の日には１０月２８日が適当と判断されました。

☆１９７万、群馬県民の一員として！

群馬県民の日が制定されてから３５年が経ちました。現在、『１０月２８日』という日は、多くの県民にとって馴染みの深い日となってきました。

今年も、まもなく３６回目の県民の日がやってきます。この機会に、その意味をしっかりと理解し、改めて郷土の歴史や文化にふれ、ふるさと「群馬県」について思いをめぐらせてみましょう。

多々良地区では「群馬県立多々良沼公園での花苗のプレゼント」や「群馬県立館林美術館の観覧料無料」などが予定されています。実施の可否をご確認の上、ぜひ参加してみてください。